

年 報

令和元年度版



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

唐津赤十字病院

令和元年度年報の発刊にあたって

令和元年度の年報が完成しました。この年は、平成の天皇陛下が4月30日に退位され、新たに皇太子徳仁親王殿下が5月1日に第126代天皇に即位され、「令和」と元号が改正されました。また、ラグビー・ワールドカップ日本大会が開催され、日本代表は、グループAを4戦全勝の1位で突破し、初の8強入りを果たして日本中を熱狂させました。チームスローガンの「ワンチーム」は年末の新語・流行語大賞となりました。ゴルフでは渋野日向子選手が全英女子オープンで初優勝を果たし、ラウンド中も笑顔を絶やさずにプレーする姿から、「スマイリング・シンデレラ」と呼ばれ日本中を熱狂させました。

年末には、私たちの先輩の中村哲さんがアフガニスタンで銃撃されるという、ショッキングなニュースが飛び込んでまいりました。「ペシャワール会」の代表としてアフガニスタンで、井戸や農業用水路の整備などに取り組んで、現地でも尊敬されていましたが、非常に残念な知らせでした。

自然災害は毎年起こっています。この年は東日本で10月12日に関東から東北にかけて大雨となり甚大な被害が生じて、死者が90人を超えました。

佐賀県でも、8月28日未明に降った大雨で佐賀県南部に発生した洪水災害に対して、当院からは救護班を杵藤エリアに派遣しました。

地震、津波、火山の噴火、台風、大雨などの天災はいつも人間の予想を超えて、想定外に起きます。今後も災害救護が赤十字病院として大事な任務の一つですので、様々な災害を想定し訓練を重ね、日々備えていきます。

本誌ではこの1年の各科、各部署の診療実績、学会活動、その他の活動について報告します。当院の評価の一助となり、職員の励みになればと思います。

令和2年3月
唐津赤十字病院
院長 志田原 哲



唐津赤十字病院の理念

「安心な医療」

「あたたかい看護」

「地域への貢献」

基本方針

- ① 患者さんの人権を尊重します。
- ② 質の高い医療と看護を提供します。
- ③ 救急医療やがん医療の充実に努めます。
- ④ 地域医療連携を推進します。
- ⑤ 災害救護に貢献します。
- ⑥ 健全で安定した経営基盤を確立します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 治療や検査に関して、理解できるまで説明を受け、ご自身で決定する権利があります。
3. 医療機関を選択し変更する権利、他の医師の意見（セカンド・オピニオン）を聞く権利があります。
4. ご自身の医療情報を知る権利があります。
5. プライバシーが守られる権利があります。
6. 個人の尊厳が尊重される権利があります。

医療バランスト・スコアカード導入について

当院では、平成8年度から5次にわたり経営改善計画等を策定し、経営基盤の強化と医療の充実の両立を目指してきました。

病院経営を取り巻く状況は刻一刻と変化しており、2025年や2040年を1つの区切りとして、医療福祉のあるべき姿が「地域包括ケアシステム」として周知されています。当院においても、佐賀県保健医療計画における当院の役割を自覚し、経営方針を立てていくことが求められます。また、近年の診療報酬改定では、病院の機能分化が推進されており、要件の厳格化およびマイナス改定など、厳しい状況が続きます。

このような状況下で、当院が担うべき医療を積極的に展開していくために、医師をはじめとする医療スタッフの役割は大きく、長期的な視座のもとスタッフ確保に尽力してきた結果、職員数は平成20年度（424名）から200名近く拡充することができました。

600名を超す職員を抱える病院において、しばしば課題となるのは、職員間の意思疎通が希薄化することです。これは、職員数の増大のみならず、国家資格の有資格者による多職種協働という病院特有の事情が影響しています。

このような課題に対して、当院では従来の3～5年にわたる経営改善計画の策定・周知では、安定した病院経営を持続できないと判断し、医療バランスト・スコアカード（以下「BSC」）を平成26年度より本格導入するに至りました。

BSCの運用においては、病院BSCのスコアカードを年度初めに作成・周知し、院内各部署による各部署BSCのスコアカードを作成しています。その後、院長ヒアリングを通じて、各部署との意思疎通を図り、中期評価、年度末評価を行うことで、各部署の業務改善の進捗状況を管理しています。

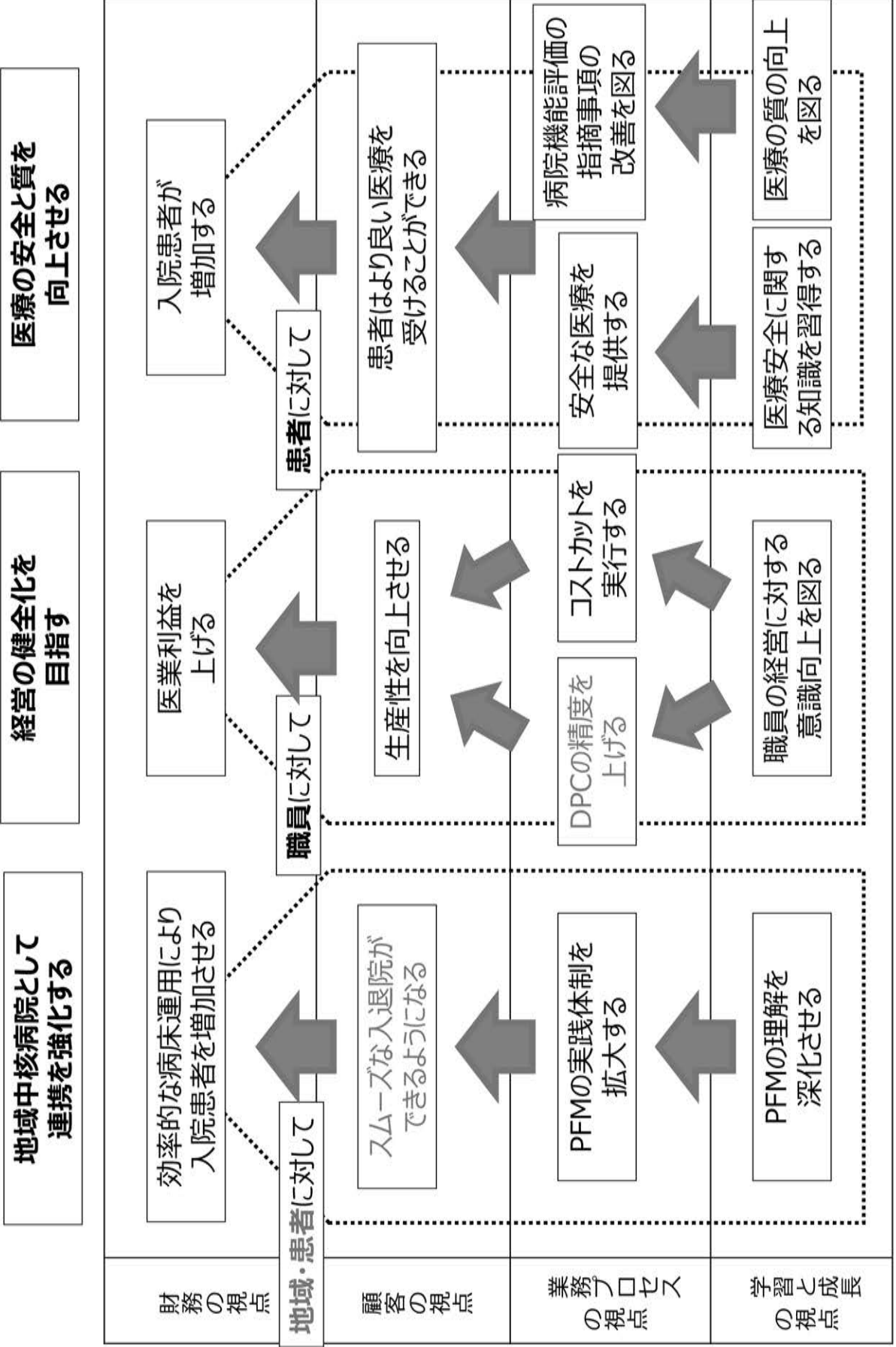
令和元年度病院 B S C

○戦略マップ

○スコアカード

ミッション：「安心な医療」「あたたかい看護」「地域への貢献」

ビジョン：「紹介型の地域中核病院として、連携の強化と医療の安全と質を向上させ、連携の健全化を目指す」



[平成31年度 病院BSC]

唐津赤十字病院の理念:「安心な医療」「あたたかい看護」「地域への貢献」
 ビジョン: 紹介型の地域中核病院として、連携の強化と医療の安全と質を向上させ、経営の健全化を目指す

《地域中核病院として連携を強化する》

| 視点 | 戦略マップ | 戦略目標 | 重要成功要因 <small>※戦略目標の達成のために、もたらす重要となる成果 成果や力となる成果</small> | 成果尺度 <small>※戦略目標がどのくらい達成されたかを図るための 尺度</small> | 現状値 | 目標値 | 行動計画(アクションプラン) <small>※短期目標を達成するための具体的な行動計画</small> | 担当部署 |
|-----------|-----------------------|------------------------------------|---|---|------------|--------------|--|---------------------------------------|
| 財務の視点 | 効率的な病床運用により入院患者を増加させる | 効率的な病床運用により入院患者を増加させる | 入院期間 I・II 以内の割合を増加させる | 入院期間 I・II の割合 | (全体) 50.2% | 60% | | |
| 顧客の視点 | スムーズな入院退院ができるようになる | スムーズな入院退院ができるようになる 顧客=地域・患者 | 多職種が効率よく介入する | PFMの実施件数 | 3.7件/月 | 7.4件/月 | <実施件数の増加について> ○各部署の効率化に向けて検討する <効率化について> ○各職種が関与した時間の計測(※昨年度実績有) ○各職種が関与した時間の広報・周知 | 各部署 患者総合支援センター |
| 業務プロセスの視点 | PFMの実践体制を拡大する | PFMの実践体制を拡大する | 各診療科のPFM対象疾患を拡大する | 各診療科のPFM対象疾患数 | 各診療科: 1疾患 | 各診療科: +1疾患以上 | <PFMについて> ○PFMの対象疾患の選定期限を決める(4月末まで) ○頻度の多い疾患を優先する <クリニカルパスについて> ○入院期間皿になっている疾患を中心にパスの見直し(特に入院期間) ○パスに関する情報インフラの整備(電子カルデへの移行を急ぐ) | 各診療科 患者総合支援センター 各診療科 事務部 |
| 学習と成長の視点 | PFMの理解を深化させる | PFMの理解を深化させる | PFM実践事例を周知する | 実践事例の広報 | なし | 1回/3ヶ月 | ○Webwalikerにて情報を周知する(3ヶ月に一度) ○管理会議での報告(毎月) | 事務部 患者総合支援センター 各部署 |

[平成31年度 病院BSC]

唐津赤十字病院の理念:「安心な医療」「あたたかい看護」「地域への貢献」
 ビジョン:紹介型の地域中核病院として、連携の強化と医療の安全と質を向上させ、経営の健全化を目指す

《経営の健全化を目指す》

| 視点 | 戦略マップ | 戦略目標 | 重要成功要因 ※戦略目標の達成のために、もっとも重要となる要素や かかわる部署 | 成果尺度 ※戦略目標達成の方向性・進捗状況を把握するための尺貫 | 現状値 | 目標値 | 行動計画(アクションプラン) ※戦略目標達成するための具体的な取組計画 | 担当部署 |
|-----------|--------------------------------------|--------------------------------------|--|---|--|---|--|------|
| 財務の視点 | <p>医療利益を上げる</p> | <p>医療利益を上げる</p> | <p>減価償却前利益の確保 キャッシュフローの適正化</p> | <p>1,750万/月</p> | <p>2,500万/月</p> | <p>行務科(アクションプラン) ※戦略目標達成するための具体的な取組計画</p> | | |
| 顧客の視点 | <p>生産性を向上させる</p> | <p>生産性を向上させる</p> <p>顧客=職員</p> | <p>労働生産性を向上させる</p> | <p>85.5%</p> | <p>83%</p> | <p>〇人件費を適正化する 〇採用計画の見直し・検討 〇医業収益の増収を図る</p> | 各部署 | |
| 業務プロセスの視点 | <p>DPCの精度を上げる</p> <p>コストカットを実行する</p> | <p>DPCの精度を上げる</p> <p>コストカットを実行する</p> | <p>DPCに関する必要情報を共有する</p> <p>《コストカット》 コストカットへの意識を向上させる 材料費を削減する 光熱費を削減する</p> | <p>《DPC》 12.1%</p> <p>《コストカット》 材料費率:28.7% (対医業収益) 光熱費:1.685kl(原油換算)</p> | <p>《DPC》 15.0%</p> <p>《コストカット》 材料費:25%(対医業収益) 光熱費:前年度比1%削減</p> | <p>《DPC》 〇副傷病名についての情報を提供する 〇DPCに関する取り組みの効果・必要性を具体的に説明する 〇処置の実施入力漏れのフィードバック</p> <p>《コストカットについて》 〇共同購入の推進 〇委託費の見直し・検討 〇各部署と事務部との協働の推進 〇共同購入に関する日赤G内の情報のフィードバック 〇光熱費1%削減のわかりやすい目標の提示</p> | <p>各診療科 事務部</p> <p>各部署 事務部</p> | |
| 学習と成長の視点 | <p>職員の経営に対する意識向上を図る</p> | <p>職員の経営に対する意識向上を図る</p> | <p>統計情報を職員に広報する</p> | <p>なし</p> | <p>毎月</p> | <p>〇管理会議での情報提供 〇WebwalkerのTodo機能の活用 〇本社から提供されるデータをもとに、当院の現状を周知する 〇girasolのデータの回覧 〇タイムリーな情報提供</p> | 事務部 | |

[平成31年度 病院BSC]

唐津赤十字病院の理念:「安心な医療」「あたたかい看護」「地域への貢献」
ビジョン:紹介型の地域中核病院として、連携の強化と医療の安全と質を向上させ、経営の健全化を目指す

《医療の安全と質を向上させる》

| 視点 | 戦略マップ | 戦略目標 | 重要成功要因 | 成果尺度 | 現状値 | 目標値 | 行動計画(7アクションプラン) | 担当部署 |
|-----------|---------------------------------|----------------------------------|--|--|---|--|---|---|
| 財務の視点 | 入院患者が増加する | 入院患者が増加する | ※戦略目標の達成のために、もっとも重要となる要素、やがてなくなる成果 | 成果尺度 ※戦略目標がどのくらい達成されたか受けるための尺度 | 12.8日 611人/月 | 12.0日 625人/月 | | |
| 顧客の視点 | 患者はより良い医療を受けられる | 患者はより良い医療を受けられることができる | 全インシデント・アクシデント件数に占める有害事例の割合を縮小する | 平均在院日数 (※管理会議で使用しているもの) 新入院患者数 | 3.9% | 3.5% | ○患者満足度調査における医療安全と医療の質に関する項目の結果の周知・改善 ○0、1レベルの報告件数の増加 | 事務部 医療安全推進センター 各部署 |
| 業務プロセスの視点 | 安全な医療を提供する 病院機能評価の指摘事項の改善を図る | 安全な医療を提供する 病院機能評価での指摘事項の改善を図る | 《医療安全》 インシデント・アクシデントの報告数の増加 《医療の質》 B・C評価を受けた項目を改善する | 《医療安全》 インシデント・アクシデントの報告数 《医療の質》 B評価を受けた項目の改善数(自己評価) | 《医療安全》 143件/月 《医療の質》 B評価:17項目 | 《医療安全》 150件以上/月 《医療の質》 全てA評価(自己評価) | 《医療安全》 ○問題点を共有して改善を図る ○薬剤に関するインシデントへの意識向上を図る(入院時処方など) 《医療の質》 ○クリニカル・インディケータの公表項目を増やす ○働き方改革に取り組み | 医療安全推進センター 各診療科 看護部 薬剤部 各部署 |
| 学習と成長の視点 | 医療安全の文化を醸成する 医療の質の向上を図る | 医療安全の文化を醸成する 医療の質の向上を図る | 《医療安全》 コア人材を中心とした人材の拡幅 《医療の質》 病院機能評価報告書の確認 | 《医療安全》 各部署でのカンファレンスの検討事項の共有回数 《医療の質》 病院機能評価報告書の回数 | 《医療安全》 各部署 月1回以上 《医療の質》 各部署 1回以上 | 《医療安全》 ○コア人材の活用を図る ○リスクマネジメント検討会を活性化させる ○関係他部署への情報共有 《医療の質》 ○少なくとも自部署に関連する項目については必ず確認する | 医療安全推進センター 各部署 各部署 | |

I 病院の概況

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 唐津赤十字病院の変遷 | 1 |
| 2. 病院の概要 | 4 |
| 3. 病床数 | 8 |
| 4. 組織図 | 9 |
| 5. 職員の状況 | 10 |
| 6. 土地・建物の概要 | 11 |
| 7. 施設案内図 | 12 |
| 8. 主要医療機器 | 13 |
| 9. 令和元年度医療施設特別会計歳入歳出決算書 | 15 |
| 10. 令和2年度医療施設特別会計歳入歳出予算概算書 | 16 |
| 11. 決算の推移（過去4か年） | 17 |
| 12. 院内委員会等組織表 | 18 |

II 統計

| | |
|----------|----|
| 1. 患者統計 | |
| (1) 入院 | 19 |
| (2) 外来 | 21 |
| (3) 救急 | 22 |
| (4) 診療科別 | 23 |
| (5) 月別 | 25 |
| 2. 稼働統計 | 26 |
| 3. 手術統計 | 29 |
| 4. 業務統計 | 30 |

III 各部門の概況

| | |
|--------|----|
| 1. 診療部 | |
| ・糖尿病内科 | 32 |
| ・腎臓内科 | 34 |
| ・消化器内科 | 36 |
| ・呼吸器内科 | 39 |
| ・血液内科 | 41 |
| ・肝臓内科 | 45 |
| ・循環器内科 | 48 |
| ・小児科 | 52 |
| ・外科 | 54 |
| ・整形外科 | 61 |

| | |
|----------------|-----|
| ・脳神経外科 | 63 |
| ・皮膚科 | 64 |
| ・泌尿器科 | 65 |
| ・産婦人科 | 67 |
| ・眼科 | 69 |
| ・放射線科 | 70 |
| ・麻酔科 | 71 |
| ・救急科 | 73 |
| ・病理診断科 | 75 |
| ・形成外科 | 77 |
| ・歯科口腔外科 | 78 |
| 2. 薬剤部 | |
| ・薬剤課 | 80 |
| 3. 看護部 | 84 |
| 4. 医療技術部 | |
| ・栄養課 | 94 |
| ・臨床工学技術課 | 96 |
| ・検査技術課 | 99 |
| ・放射線技術課 | 102 |
| ・リハビリテーション技術課 | 104 |
| 5. 医療安全推進センター | 106 |
| 6. 感染管理室 | 112 |
| 7. 教育研修推進センター | 118 |
| 8. 救命救急管理センター | 120 |
| 9. がん医療推進センター | 121 |
| 10. 患者総合支援センター | 125 |
| 11. 疾病予防センター | 130 |
| 12. 広報推進室 | 131 |
| 13. 事務部 | |
| ・総務課 | 132 |
| ・会計課 | 134 |
| ・医事課 | 136 |
| ・診療支援課 | 138 |
| ・情報システム課 | 155 |
| ・経営対策課 | 156 |
| 14. 医療社会事業部 | |
| ・医療社会事業課 | 159 |

I 病院の概況

1. 唐津赤十字病院の変遷

| | | |
|-------|-----|--|
| 昭和32年 | 10月 | 唐津赤十字病院開設 内科、外科、小児科、理学診療科 4科 〈一般 46床 結核 214床 計 260床〉 |
| 昭和33年 | 1月 | 産婦人科開設 |
| | 10月 | 耳鼻咽喉科開設、理学診療科を放射線科に変更 |
| | 11月 | 整形外科開設 |
| | 12月 | 気管食道科開設 |
| 昭和35年 | 6月 | 唐津市伝染病棟 30床併設 一般 35床増床 〈一般 121床 結核 142床 伝染 30床 計 293床〉 |
| | 7月 | 一般 3床 結核 2床増床 〈一般 124床 結核 144床 伝染 30床 計 298床〉 |
| | 10月 | 眼科開設〈総合病院承認〉 |
| 昭和39年 | 2月 | ラジウム治療室 2床増床 〈一般 126床 結核 144床 伝染 30床 計 300床〉 |
| 昭和42年 | 4月 | 東松浦郡伝染病棟 30床併設 〈一般 126床 結核 144床 伝染 60床 計 330床〉 |
| 昭和44年 | 3月 | 結核 74床を一般病床へ変更 〈一般 200床 結核 70床 伝染 60床 計 330床〉 |
| 昭和45年 | 2月 | 救急告示病院指定 |
| | 12月 | 唐津市助産施設 3床増床 〈一般 203床 結核 70床 伝染 60床 計 333床〉 |
| 昭和46年 | 8月 | 理学診療科開設 |
| 昭和48年 | 4月 | 心療内科開設 |
| 昭和54年 | 1月 | 病院改築着工 |
| 昭和55年 | 3月 | 病院改築第1期工事完工 |
| | 6月 | 皮膚科開設 |
| 昭和56年 | 2月 | 病院改築竣工 (S54.1 ~ S56.1) |
| | 4月 | 病院群輪番制病院指定 |
| | 6月 | 泌尿器科開設 |
| 昭和57年 | 4月 | 脳神経外科、神経内科開設 |
| | 11月 | 病床変更 結核 70 → 30床、伝染 60 → 30床、70床を一般病床へ変更 〈一般 273床 結核 30床 伝染 30床 計 333床〉 |
| 昭和58年 | 4月 | 歯科開設 |
| | 6月 | 血液透析開始 |
| 昭和63年 | 4月 | 麻酔科開設 |
| | 9月 | ICU・CCU、救急処置室等増築工事竣工 |
| 平成元年 | 4月 | 一般 10床増床〈一般 283床 結核 30床 伝染 30床 計 343床〉 医事システム運用開始 |
| 平成3年 | 3月 | リハビリテーション等棟竣工 |
| 平成4年 | 3月 | 2階西病棟改修竣工 (小児病棟) |
| 平成5年 | 3月 | 一般 30床増床〈一般 313床 結核 30床 伝染 30床 計 373床〉 |
| | 5月 | 「経営改善委員会」設置 |
| | 6月 | HIV感染症に関する中核医療機関指定 |
| | 11月 | HIV感染症に関する地域中核医療機関指定 (同上の要領変更による) |
| 平成6年 | 3月 | 互助会設立 |
| | 4月 | 結核病床 30床休止 |
| 平成7年 | 11月 | 外来診療録ジャストサーチシステム導入 |
| 平成8年 | 4月 | 「経営改善実施計画」スタート (県、市町村補助開始) |
| | 6月 | 初診料特定療養費届出 (紹介患者Ⅵ) |
| | 10月 | 手術室 (中央材料室) 改修工事、血液透析室移転工事竣工 |
| | 12月 | ICU新設工事、外科・脳外科外来移転工事竣工、中央処置室運用開始 |
| 平成9年 | 1月 | ICU届出 (第3号) |
| | 2月 | 2階東病棟改修工事竣工 |
| | 3月 | 新看護届出 (第72号)、血管造影室 (一般、心臓カテーテル) 竣工 |

| | | | |
|------------|-------|--|---------------------------------------|
| I 病院の概況 | 4月 | 心臓カテーテル検査運用開始 | |
| | 7月 | 5階病棟改修工事竣工 | |
| | 9月 | 院外処方箋発行開始 | |
| | 11月 | 地域災害医療センター（地域災害拠点病院）指定 | |
| | 11月 | オーダーリングシステム（処方）、医事、薬剤システム運用開始 | |
| | 平成10年 | 1月 | 結核病床 30床廃止 〈一般 313床 伝染 30床 計 343床〉 |
| | | 4月 | 「臨床研修病院」指定 |
| | | 4月 | 呼吸器科、消化器科、循環器科開設 気管食道科廃止 |
| | | 4月 | 再来予約オーダー運用開始 |
| | | 6月 | 駐車場有料化 |
| | 9月 | 病棟オーダー、検査オーダー、検査部門システム、給食部門システム運用開始 | |
| | 12月 | 検査予約オーダー・SPDシステム運用開始 | |
| 平成11年 | 4月 | 感染症医療機関指定（伝染 30床 → 感染症 4床） 〈一般 313床 感染 4床 計 317床〉 | |
| | 4月 | 心療内科休診 | |
| | 8月 | 「診療録管理室」設置 | |
| 平成12年 | 10月 | 医療事故防止マニュアルの策定（リスクマネジメント） | |
| | 1月 | 「診療情報の提供に関する要領」策定 | |
| | 4月 | 旧病棟（伝染病棟）解体 | |
| | 5月 | 駐車場40台分増設 | |
| | 9月 | MRI更新、「地域医療連携室」運営開始 | |
| | 10月 | システム運用による院外処方箋発行開始 | |
| 平成13年 | 12月 | 無菌手術棟増築工事竣工 | |
| | 1月 | 初診料特定療養費の変更（750円 → 1,050円） | |
| | 3月 | 電話交換機更新、院内PHS導入 | |
| | 4月 | 「経営自立3カ年計画」スタート | |
| 平成14年 | 7月 | 新看護2：1体制届出 | |
| | 1月 | 外来診療録1患者1診療録運用開始 | |
| | 10月 | ホームページ開設 | |
| | 11月 | ラジウム治療廃止 | |
| 平成15年 | 2月 | 新病棟増築工事竣工、受水槽移設工事完成 | |
| | 4月 | 一般病床 20床増床〈一般 333床 感染症 4床 計 337床〉 | |
| | 4月 | 南病棟運用開始、病棟再編成 | |
| | 4月 | 2階西病棟休床 | |
| | 9月 | CRシステム稼働 | |
| 平成16年 | 3月 | 新医事システム稼働、急性期入院加算届出辞退 | |
| | 4月 | 「第3次経営改善計画」スタート | |
| | 10月 | 共同利用型病床届出 | |
| 平成17年 | 4月 | 初診料特定療養費の変更（1,050円 → 1,575円） | |
| | 8月 | 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術届出 | |
| 平成18年 | 2月 | リストバンド運用開始 | |
| | 4月 | 一般病棟入院基本料10対1 | |
| | 7月 | テレビ掲示システム導入 | |
| | 8月 | イントラネット（グループウェア）導入 | |
| | 9月 | （財）日本医療機能評価機構による病院機能評価受審 | |
| | 11月 | デジタルX線テレビシステム更新 | |
| | 12月 | 特定集中治療室（ICU）管理料施設基準辞退 | |
| 平成19年 | 1月 | 7対1入院基本料届出、地域がん診療連携拠点病院指定 | |
| | 2月 | 「看護管理センター」設置 | |
| | 2月 | NST稼働施設認定 | |
| | 3月 | 64列マルチスライスCT導入 | |
| | 4月 | 「第4次経営改善計画」スタート | |
| | 4月 | テレパソロジーによる病理組織迅速顕微鏡検査開始 | |
| | 7月 | 地域医療支援病院指定 | |
| | 8月 | 病院機能評価（Ver.5.0）認定 | |
| | 10月 | 開院50周年 | |

II
統計III
各部門の概況

| | | |
|-------|-----|--|
| 平成20年 | 12月 | 新医療情報システム（オーダーリング）稼働 |
| | 1月 | AED設置（7台：各病棟・外来） |
| | 4月 | 産婦人科医1人体制へ |
| | 7月 | 救急科開設 |
| 平成21年 | 10月 | 病院敷地内全面禁煙 |
| | 12月 | 内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎間板摘出（切除術）開始 |
| | 3月 | 佐賀県災害派遣医療チーム（佐賀県DMAT）指定病院へ指定 DPC算定開始 地域救命救急センター設置（認定） |
| | 7月 | 「ほほえみの会（がん患者会）」発足 |
| 平成22年 | 3月 | 循環器用血管撮影装置更新 |
| | 4月 | 新医事システム（HOPE）稼働 光サーチシステム機器の更新 産婦人科医2人体制へ |
| 平成23年 | 9月 | 佐賀県がん診療連携協議会スタート |
| | 10月 | 「市民公開講座」の第1回目を開催 |
| | 1月 | ホームページ全面リニューアル |
| | 4月 | 救護活動市民報告会開催 （東日本大震災における唐津赤十字病院の救護班の活動報告会） 産婦人科医3人体制へ 小児科医5人体制へ 病理診断科開設 「病院建設推進室」設置 「フットケア外来」開設 |
| 平成24年 | 7月 | フィルムレス用モニター一部設置・稼働 |
| | 9月 | 第34回佐賀救急医学会 |
| | 10月 | 形成外科開設 フィルムレス用モニター設置完了・全稼働 |
| | 11月 | 地域連携システム稼働 |
| 平成25年 | 1月 | 「ハートケア外来」開設 |
| | 2月 | フィルムレス全運用開始 |
| | 3月 | 唐津赤十字病院NST公開講座「地域一体型の栄養サポートをめざして」 血管造影装置更新 |
| | 4月 | 「臨床工学技術課」設置 |
| 平成26年 | 9月 | 新病院設計業者決定プロポーザル |
| | 12月 | 新病院建設基本設計開始 |
| | 2月 | 日本医療マネジメント学会（唐津） |
| | 4月 | 「唐津赤十字病院経営計画」スタート |
| 平成28年 | 6月 | 医療バランスト・スコアカード（BSC）導入開始 |
| | 3月 | 生理検査部門システム導入 リハビリ管理システム導入 |
| 平成29年 | 6月 | 新病院移転新築工事起工式 |
| | 4月 | 新病院引渡し式 |
| | 7月 | 新病院落成式 |
| | 8月 | 新病院開院（二太子地区→和多田地区） 〈28科 一般300床 感染4床 計304床〉 電子カルテシステム稼働 |
| 平成30年 | 3月 | 原子力災害拠点病院に指定 |
| | 4月 | 地域連携小児救急医療センター開設 |
| 平成31年 | 6月 | 病棟薬剤業務開始（全ての病棟で開始） |
| | 4月 | 歯科口腔外科開設 |
| 令和元年 | 9月 | 病院機能評価（3rdG: Ver.2.0）受審〔一般病院2〕 |
| | 2月 | 病院機能評価（3rdG: Ver.2.0）認定〔一般病院2〕 |
| 令和元年 | 8月 | 令和元年度佐賀豪雨災害への救護班派遣 （8月29日～8月30日、杵藤エリア） |
| | 9月 | 令和元年度佐賀豪雨災害への看護師派遣 （9月7日～9月9日） |

2. 病院の概要

| | |
|---------|---|
| ◇名称 | 唐津赤十字病院 |
| ◇所在地 | 佐賀県唐津市和多田2430 |
| ◇開設年月日 | 昭和32年10月15日 |
| ◇診療科目 | 内科・呼吸器内科・消化器内科・血液内科・腫瘍内科・糖尿病内科 神経内科・腎臓内科・循環器内科・小児科・外科・呼吸器外科 消化器外科・乳腺外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科 産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・救急科 形成外科・精神科・リハビリテーション科・病理診断科・歯科口腔外科 29科 |
| ◇特殊医療施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修病院（基幹型・九大協力型・佐大協力型） ・地域がん診療連携拠点病院 ・地域医療支援病院 ・地域救命救急センター 16床 ・無菌治療室 4床 ・血液透析室 11床 ・無菌手術室 1室 ・感染症病床 4床 ・共同利用型病床 5床 ・外来化学療法室 21床 ・佐賀県緊急医療施設（管理受諾） |
| ◇救急・災害等 | 地域救命救急センター 救急告示病院 地域災害拠点病院（地域災害医療センター） 第二種感染症指定医療機関 原子力災害拠点病院 HIV感染症に関する地域中核医療機関 |
| ◇高額医療機器 | 64列・320列マルチスライスCT、血管造影装置（一般、心臓カテーテル用） RI（シンチレーションカメラ）、ライナック（高エネルギー放射線治療装置） MRI（Gyrosan Intera 1.5T, 3.0T） 体外衝撃波腎・尿管結石破碎装置 |
| ◇許可病床数 | 304床（一般 300床、感染症 4床） |
| ◇敷地面積 | 28,900㎡（市有地無償貸与） |
| ◇延べ床面積 | 28,173.29㎡ 本館（鉄筋コンクリート造7階建） 23,303.19 ㎡ エネルギー棟（鉄筋コンクリート造2階建） 806.18 ㎡ マニホールド（鉄筋コンクリート造平屋建） 21.00 ㎡ 立体駐車場（鉄骨造3階建） 4,042.92 ㎡ |
| ◇駐車場 | 641台 |
| ◇施設基準 | 歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準 歯科外来診療環境体制加算1 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1） 総合入院体制加算3 |

| | |
|-------|--|
| ◇施設基準 | <p>超急性期脳卒中加算 診療録管理体制加算 1 医師事務作業補助体制加算 1 (25対 1) 急性期看護補助体制加算 (50対 1) 夜間100対1急性期看護補助体制加算夜間看護体制加算 療養環境加算 重症者等療養環境特別加算 無菌治療室加算 2 栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算 I (医療安全対策地域連携加算 1) 感染防止対策加算 I (感染防止対策地域連携加算・抗菌薬適正使用支援加算) 患者サポート体制充実加算 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 ハイリスク妊娠管理加算 ハイリスク分娩管理加算 総合評価加算 後発医薬品使用体制加算 1 病棟薬剤業務実施加算 1 病棟薬剤業務実施加算 2 データ提出加算 2 イ 入退院支援加算 1 (入院時支援加算) 認知症ケア加算 2 精神疾患診療体制加算 救命救急入院料 3 告示注 3、注 7 小児入院医療管理料 3 入院食事療養 (I) 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時管理料 クラウンブリッジ維持管理料 上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)(歯科) 下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)(歯科) 歯科口腔リハビリテーション料 2 糖尿病合併症管理料 がん性疼痛緩和指導管理料 がん患者指導管理料イ、がん患者指導管理料ロ 乳腺炎重症化予防ケア指導料 地域連携小児夜間・休日診療料 1 糖尿病透析予防指導管理料 外来放射線照射診療料 ニコチン依存症管理料 開放型病院共同指導料 がん治療連携計画策定料 肝炎インターフェロン治療計画料 ハイリスク妊産婦連携指導料 1 薬剤管理指導料 医療機器安全管理料 1 医療機器安全管理料 2</p> |
|-------|--|

| | |
|-------|--|
| ◇施設基準 | <p>在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定 HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ） 検体検査管理加算（Ⅳ） 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト ヘッドアップテイルト試験 コンタクトレンズ検査料Ⅰ 画像診断管理加算Ⅱ CT撮影及びMRI撮影 冠動脈CT撮影加算 外傷全身CT加算 心臓MRI撮影加算 乳房MRI撮影加算 小児鎮静化MRI撮影加算 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 外来化学療法加算Ⅰ 無菌製剤処理料 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 がん患者リハビリテーション料 人工腎臓（慢性維持透析を行った場合Ⅰ） 導入期加算Ⅰ 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。） 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの）） 乳がんセンチネルリンパ節加算Ⅱ及びセンチネルリンパ節生検（単独） 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（MRIによるもの） ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後） 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）～ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 大動脈バルーンパンピング法（IABP法） 腹腔鏡下肝切除術（部分切除、外側区域切除） 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術 腹腔鏡下膵腫瘍切除術 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術 医科点数表第2章第10部手術の通則16に掲げる手術 輸血管理料Ⅰ 輸血適正使用加算 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 麻酔管理料（Ⅰ） 放射線治療専任加算 外来放射線治療加算 高エネルギー放射線治療</p> |
|-------|--|

| | |
|----------|---|
| ◇施設基準 | 病理診断管理加算 I 悪性腫瘍病理組織標本加算 酸素の購入単価に関する届出 特別の療養環境の提供（特別室）の届出 180日超特定療養費 病床数が200床以上の病院等について受けた初診・再診の実施（変更）報告書 |
| ◇学会認定施設等 | 日本内科学会認定医制度教育病院 日本循環器学会循環器専門医研修施設 日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本血液学会認定血液研修施設 日本消化器外科学会専門医修練施設 日本呼吸器外科学会関連修練施設 日本整形外科学会専門医制度研修施設 日本脳卒中学会認定研修教育病院 日本脳神経外科学会専門医訓練施設 日本眼科学会専門医制度研修施設 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 放射線科専門医修練協力機関 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 日本臨床細胞学会認定施設 日本病理学会研修登録施設 日本消化器病学会関連施設 日本消化器内視鏡学会指導施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設 日本乳癌学会認定施設 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設 救急科専門医指定施設 日本高血圧学会専門医認定施設 マンモグラフィー検診施設画像認定証 日本心血管インターベンション治療学会の研修関連施設 日本呼吸器内視鏡学会認定施設 日本臨床腫瘍学会認定研修施設 日本呼吸器学会認定施設 日本小児循環器学会認定小児循環器専門医修練施設 日本糖尿病学会専門医認定教育関連施設 日本胆道学会指導施設 日本乳癌学会認定施設 日本小児科学会 小児科専門医研修施設 日本皮膚科学会認定専門医研修施設 日本泌尿器科学会 専門医教育施設 日本透析医学会専門医制度に基づく認定施設 日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設 日本脳卒中学会一次脳卒中センター 日本臨床腫瘍学会認定研修施設 |

3. 病床数

(1) 許可病床数

| 項目 | 区分 | 病 床 数 |
|-----|-----------|-------|
| 種別 | 一 般 病 床 | 300床 |
| | 感 染 症 病 床 | 4床 |
| 合 計 | | 304床 |

(2) 病棟別病床数

| 病棟 | 区分 | 許可病床数 | 実動病床数 | 主な診療科等 |
|-----------------|----|-------|-------|--------------------|
| 地域救命救急センター(3階南) | | 16床 | 16床 | 重症 |
| 3階西 | | 40床 | 40床 | 内科系 脳神経外科 眼科 |
| 4階東 | | 25床 | 25床 | 産婦人科 外科 乳腺外科 |
| 4階西 | | 42床 | 42床 | 外科 乳腺外科 |
| 4階南 | | 15床 | 15床 | 小児科 (感染症病床4床含む) |
| 5階東 | | 42床 | 42床 | 整形外科 泌尿器科 |
| 5階西 | | 40床 | 40床 | 混合 |
| 6階東 | | 42床 | 42床 | 内科系 (無菌室4床含む) |
| 6階西 | | 42床 | 42床 | 内科系 (陰圧室2床含む) |
| 合 計 | | 304床 | 304床 | |

※内科系（内科・糖尿病内科・腎内科・呼吸器内科・消化器内科・血液内科・神経内科）

5. 職員の状況

令和2年3月31日現在

| | 全職員 | 正職員 | 常 嘱 | 臨 時 | 非常嘱 | パート |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 医師 | 80 | 65 | 15 | | | |
| 医師 | 65 | 63 | 2 | | | |
| レジデント | 7 | | 7 | | | |
| 研修医 | 4 | | 4 | | | |
| 嘱託医師 | | | | | | |
| 県派遣 | 4 | 2 | 2 | | | |
| 看護師 | 334 | 310 | 17 | | | 7 |
| 助産師 | 15 | 15 | | | | |
| 看護師 | 319 | 295 | 17 | | | 7 |
| 准看護師 | | | | | | |
| コメディカル | 81 | 79 | 1 | | | 1 |
| 薬剤師 | 17 | 17 | | | | |
| 検査技師 | 19 | 17 | 1 | | | 1 |
| 放射線科技師 | 15 | 15 | | | | |
| 臨床工学技士 | 5 | 5 | | | | |
| 栄養士 | 4 | 4 | | | | |
| 理学療法士 | 9 | 9 | | | | |
| 視能訓練士 | 2 | 2 | | | | |
| 歯科衛生士 | 2 | 2 | | | | |
| マッサージ師 | 1 | 1 | | | | |
| 言語聴覚士 | 3 | 3 | | | | |
| 作業療法士 | 3 | 3 | | | | |
| 臨床心理士 | 1 | 1 | | | | |
| 事務 | 59 | 32 | 26 | 1 | | |
| 県派遣 | | | | | | |
| 事務 | 46 | 30 | 15 | 1 | | |
| メディカルクラーク | 13 | 2 | 11 | | | |
| 福祉職 | 38 | 7 | 31 | | | |
| 社会福祉士 | 5 | 5 | | | | |
| 介護福祉士 | 2 | 2 | | | | |
| ケアワーカー | 31 | | 31 | | | |
| その他 | 16 | 6 | 7 | 2 | | 1 |
| 看護助手 | 3 | 3 | | | | |
| クラーク | 3 | | 3 | | | |
| 薬剤助手 | 2 | | 2 | | | |
| 放射線科助手 | 3 | | 2 | 1 | | |
| 検査技術課助手 | 1 | | | | | 1 |
| 調理師 | 3 | 3 | | | | |
| 歯科口腔外科受付 | 1 | | | 1 | | |
| 合 計 | 608 | 499 | 97 | 3 | | 9 |

6. 土地・建物の概要

(1) 土地

敷地面積 28,900㎡

(2) 建物

| 名称 | 構造 | 階 | 床面積 | 用途 | 建築年月日 |
|----------|-----------|---|------------|---|----------|
| 本館 | 鉄筋コンクリート造 | 1 | 5,914.27㎡ | 総合受付・ガレリア・医事課・患者総合支援センター・外来診察室・中央処置室・放射線科・検査(生理)・内視鏡室・疾病予防センター・佐野講堂・コンビニ・患者ラウンジ・ATM・院内保育所 | H28.4.30 |
| | | 2 | 4,818.61㎡ | 血液浄化センター・リハビリテーション・外来化学療法室・薬剤部・検査技術課・栄養課・医局・事務室・倉庫他 | |
| | | 3 | 3,874.73㎡ | 病棟・手術室・中央材料室・MEセンター | |
| | | 4 | 3,145.71㎡ | 病棟 | |
| | | 5 | 2,497.40㎡ | 病棟・看護部 | |
| | | 6 | 2,497.40㎡ | 病棟 | |
| | | 7 | 555.07㎡ | 搬送EVホール・設備機械室 | |
| 本館計 | | | 23,303.19㎡ | | |
| エネルギー棟 | 鉄筋コンクリート造 | 1 | 607.24㎡ | 中央監視室・備蓄倉庫・電気室・医療ガス機械室・倉庫他 | H28.4.30 |
| | | 2 | 198.94㎡ | 自家発電機室・廃棄物庫等 | |
| エネルギー棟計 | | | 806.18㎡ | | |
| マニホール | 鉄筋コンクリート造 | 1 | 21.00㎡ | マニホール | H28.4.30 |
| マニホール計 | | | 21.00㎡ | | |
| 立体駐車場 | 鉄骨造 | 1 | 1,010.76㎡ | 駐車場 | H28.5.17 |
| | | 2 | 1,516.08㎡ | 駐車場 | |
| | | 3 | 1,516.08㎡ | 駐車場 | |
| 立体駐車場計 | | | 4,042.92㎡ | | |
| 延べ床面積 合計 | | | 28,173.29㎡ | | |

7. 施設案内図

病棟編成

| | | | |
|----|---|--|---|
| 7階 | ヘリポート | | |
| 6階 | 6階西病棟 内科系 42床 | CW控室 学生控室 | 6階東病棟 内科系 42床 |
| 5階 | 5階西病棟 混合病棟 40床 | 看護管理センター 医療安全推進センター | 5階東病棟 整形外科 泌尿器科 42床 |
| 4階 | 4階西病棟 外科 乳腺外科 42床 | 産婦人科外来 | 4階東病棟 産婦人科 外科 乳腺外科 25床 |
| | | 4階南病棟（小児病棟） 小児科 15床（感染症病床4床を含む） | |
| 3階 | 3階西病棟 脳神経外科 内科系 眼科 40床 | 手術室6室 （無菌手術室1室を含む） | |
| | | 3階南病棟（救命救急センター） 地域救命救急センター 16床 | |
| 2階 | 事務室 職員ラウンジ 会議室 医局 SPD カルテ庫 | リハビリテーション技術課 薬剤部 栄養課 検査技術課 血液浄化センター 外来化学療法室 | 霊安室 当直室 |
| 1階 | 総合受付 外来 コンビニエンスストア 患者ラウンジ 院内保育園 佐野講堂 | ガレリア 患者総合支援センター 疾病予防センター 医事課 生理検査室 内視鏡室 | 中央処置室 放射線科 守衛室 救急外来 小児救急センター |

8. 主要医療機器

| 機器名 | 数量 | 設置場所 | 取得年月日 | |
|-------------------------------------|----|-------------|-------------|-------------|
| X線コンピュータ断層撮影装置CT (64列) | 1 | 放射線 | 平成19年3月27日 | |
| ライナック (PRIMUS Mid-Energy M2-6745) | 1 | | 平成20年3月20日 | |
| 循環器用血管撮影装置 (INFX-8000V) | 1 | | 平成22年3月31日 | |
| 一般X線撮影装置 | 1 | | 平成23年9月30日 | |
| 頭腹部用血管撮影装置 (シーメンス) | 1 | | 平成24年3月31日 | |
| 放射線治療計画装置 エレクタ Xio | 1 | | 平成26年11月28日 | |
| 核磁気共鳴画像診断装置MRI (3.0T) | 1 | | 平成28年7月11日 | |
| 骨密度測定装置 | 1 | | 平成28年7月29日 | |
| X線コンピュータ断層撮影装置CT (320列) | 1 | | 平成28年8月1日 | |
| X線TV撮影システム (ZEXIRA) | 1 | | 平成30年3月28日 | |
| X線TV撮影システム (Ultimax-i) | 1 | | 平成30年5月28日 | |
| 核磁気共鳴画像診断装置MRI (1.5T) | 1 | | 令和元年9月19日 | |
| 移動式X線撮影装置 (CALNEO AQRO) | 1 | | 令和元年9月14日 | |
| DRパネル CALNEO Smart S77 | 1 | | 令和元年9月14日 | |
| バーチャルスライドシステム (C9600-50) | 1 | | 検査室 | 平成19年4月25日 |
| 自動血液・尿分析検査システム (シスメックス) | 1 | | | 平成19年10月22日 |
| 凍結切片作成装置 (ティシュー・テック クライオ3) | 1 | 平成21年8月21日 | | |
| 東芝フルデジタル超音波診断装置 Aplio XG | 1 | 平成21年4月13日 | | |
| 循環器超音波診断装置 (iE33 Live3D) | 1 | 平成23年10月31日 | | |
| 生理検査システム (HI-MEDIONシステム一式) | 1 | 平成26年3月31日 | | |
| 超音波画像診断装置 (aplio 400) | 1 | 平成28年3月31日 | | |
| 血液培養装置 (バクテアラート3D) | 1 | 平成29年6月30日 | | |
| 自動細菌同定感受性検査装置 (バイテック2) | 1 | 平成29年6月30日 | | |
| Force Triad エネルギープラットフォーム | 1 | 手術室 | | 平成20年9月2日 |
| 内視鏡下椎間板摘出システム | 1 | | 平成20年9月17日 | |
| 麻酔器 (エステイバ7900) | 1 | | 平成21年9月2日 | |
| 麻酔器 (ファビウスタイロ) | 1 | | 平成21年9月2日 | |
| 手術室用モニター (BSM-5100 麻酔器対応) | 2 | | 平成21年8月27日 | |
| 手術用顕微鏡 | 1 | | 平成23年9月30日 | |
| ハイビジョン外科用鏡視下システム | 1 | | 平成23年11月30日 | |
| 外科用Cアーム (GE) | 1 | | 平成26年12月20日 | |
| 超音波手術器 (ソノベット UST-2001) | 1 | | 平成26年11月28日 | |
| 眼科 (網膜・硝子体/白内障) 手術装置コンステレーションビジョン | 1 | | 平成28年8月1日 | |
| 胆道ビデオスコープ CHF-240 | 1 | | 平成20年8月20日 | |
| 外科用Cアーム (フィリップス) | 1 | | 平成28年12月28日 | |
| 次世代電気手術器 (FT10) | 1 | | 平成30年1月30日 | |
| トリガーポイントハンドピース | 1 | | 平成30年3月31日 | |
| 超音波画像診断装置 (S-Nerve L-07810) | 1 | | 麻酔科 | 平成25年11月6日 |
| 手術管理システム | 1 | | | 令和2年3月9日 |
| 低温プラズマ滅菌システム (ステラット100S) | 1 | 中央材料室 | 平成26年1月18日 | |
| 低温プラズマ滅菌システム (ステラットNX) | 1 | | 平成28年8月1日 | |
| 電子内視鏡システム (Q-260) | 1 | 内視鏡 | 平成18年11月29日 | |
| 上部消化管汎用ビデオスコープ GIF-Q260J | 1 | | 平成20年8月26日 | |
| 上部消化管汎用ビデオスコープ GIF-XP260N | 1 | | 平成20年8月26日 | |
| 大腸ビデオスコープ (EVIS LUCERA TYPE Q260JI) | 1 | | 平成21年8月25日 | |
| 内視鏡システム (EVIS LUCERA ELITE) | 1 | | 平成25年11月8日 | |
| 超音波内視鏡システム (EU-MEI) | 1 | | 平成24年9月16日 | |
| 電子内視鏡システム (EVIS-LUCERAELITE) | 1 | | 平成28年8月1日 | |

| 機器名 | 数量 | 設置場所 | 取得年月日 | |
|-----------------------------------|----|-----------|-------------|------------|
| 内視鏡画像システム (オリンパス) | 1 | 内視鏡 | 平成28年8月1日 | |
| 上部消化管経鼻スコープ | 1 | | 平成29年10月16日 | |
| カプセル内視鏡システム | 1 | | 平成29年10月16日 | |
| 超音波内視鏡システム (EVIS LUCERA ELITE) | 1 | | 平成30年3月29日 | |
| 血液浄化装置 JUN-55X | 1 | 血液透析室 | 平成20年9月30日 | |
| 透析液供給装置 | 1 | | 平成23年9月30日 | |
| 血液透析機器 (DBB-27 (1)) | 1 | | 平成24年10月29日 | |
| 血液透析機器 (DCS-100NX) | 7 | | 平成28年8月1日 | |
| 血液濾過用装置 CART | 1 | | 平成29年11月30日 | |
| 透析事業支援システム | 1 | | 令和2年3月31日 | |
| 経皮的心肺補助装置 キャピオスEBS | 1 | 救急室 | 平成23年9月30日 | |
| 循環動態モーターシステム | 1 | | 平成24年10月31日 | |
| 超音波診断装置 (Xario200) | 1 | | 平成26年11月28日 | |
| ベッドサイドモニター | 2 | | 平成28年8月1日 | |
| 血ガス分析装置 (ABL90) | 1 | 救命 | 平成28年7月22日 | |
| セントラルモニター4人用 | 1 | | 平成28年8月1日 | |
| ベッドサイドモニター | 11 | | 平成28年8月1日 | |
| 血ガス分析装置 (ABL825) | 1 | | 平成27年6月30日 | |
| マンモトームシステム | 1 | 外科 | 平成22年9月21日 | |
| ハイビジョン外科用鏡視下システム | 1 | | 平成24年9月30日 | |
| 超音波診断装置 (SDD-ALPHA 7-S) | 1 | | 平成25年10月31日 | |
| 次世代電気手術器 (FT10) | 1 | | 平成30年1月30日 | |
| 超音波診断装置 (Xario XG SSA-680) | 1 | 泌尿器科 | 平成23年9月30日 | |
| YAGレーザー (ドルニエ) | 1 | | 平成28年6月29日 | |
| 体外式衝撃波結石破碎装置 (ドルニエ) | 1 | | 平成28年6月29日 | |
| 膀胱・腎盂軟性鏡ビデオスコープ (CYF-VHA) | 1 | | 平成30年1月30日 | |
| 経尿道的尿管結石破碎セット | 1 | | 令和元年9月30日 | |
| サージトロンデュアルEMC | 1 | 皮膚科 | 平成26年11月28日 | |
| 超音波診断装置 (Affiniti50G) | 1 | 小児科 | 平成29年8月31日 | |
| インファントウォーマー iLCD | 1 | | 平成29年1月13日 | |
| 超音波診断装置 (Affiniti30) | 1 | | 令和元年5月31日 | |
| 分娩監視装置 (FM-20N) アトム | 1 | 産婦人科 | 平成26年10月28日 | |
| 超音波診断装置 (Prosound a7) | 1 | | 平成23年9月30日 | |
| 超音波診断装置 (Xario 200) | 1 | | 平成27年11月26日 | |
| 超音波診断装置 (Xario 100) | 1 | | 平成28年8月1日 | |
| 超音波診断装置 (Xario 100) | 1 | | 平成29年2月22日 | |
| 超音波画像診断装置 (UD-1000BM) | 1 | | 平成19年8月23日 | |
| OTC光干渉断層撮影装置 (HS-100) | 1 | 眼科 | 平成25年7月7日 | |
| 散瞳・無散瞳一体型眼底カメラ (VX-20・VK-2) | 1 | | 平成26年3月31日 | |
| マルチカラーレーザー/ヤグレーザーコンビ | 1 | | 平成26年11月28日 | |
| 眼軸長測定システム (OA-2000) | 1 | | 平成30年1月30日 | |
| 開頭手術用ドリル (レジェンドシステム) | 2 | | 脳外科 | 平成20年8月12日 |
| 脳神経内視鏡システム (OTV-S7 ProH-HD-12E) | 1 | | | 平成25年5月7日 |
| 脳室ビデオスコープ (VEF-V) | 1 | 平成25年5月7日 | | |
| 成分採血装置 (COM.TEC) | 1 | 内科 | 平成21年8月27日 | |
| 汎用超音波画像診断装置 (フィブロスキャン502) | 1 | | 平成24年12月31日 | |
| PD-OCTイメージングシステム | 1 | | 平成30年3月27日 | |
| 経鼻咽喉頭食道ビデオスコープセット (VISERA OFFJCE) | 1 | 耳鼻咽喉科 | 平成21年7月3日 | |
| 透視下・内視鏡下脊椎手術システム | 1 | 整形外科 | 平成22年9月28日 | |
| 低侵襲手術システム | 1 | | 平成25年11月27日 | |
| 脊椎用ハンドピース (ソノペット) | 1 | | 平成28年11月30日 | |
| 12人用モニターリングシステム (PU-611R) | 1 | 3階西病棟 | 平成30年1月29日 | |

9. 令和元年度医療施設特別会計歳入歳出決算書

I. 収益的収入及び支出

(単位：円)

| 項目 | 区分 | 令和元年度 予算額 | 令和元年度 決算額 | 予算対比 (%) | 備考 |
|-----------|----|---------------|---------------|-------------|--------------|
| 病院収益 | | 9,227,460,000 | 9,616,071,736 | 4.2 | |
| 医業収益 | | 8,463,269,000 | 8,843,688,897 | 4.5 | 病床稼働率 89.7% |
| 入院診療収益 | | 6,046,100,000 | 6,111,680,875 | 1.1 | 入院稼働日 366 |
| 外来診療収益 | | 2,227,296,000 | 2,558,663,483 | 14.9 | 外来稼働日 242 |
| その他医業収益 | | 202,133,000 | 199,842,401 | ▲ 1.1 | |
| 保険等査定減 | | ▲ 12,260,000 | ▲ 26,497,862 | 116.1 | |
| 医業外収益 | | 763,431,000 | 771,476,916 | 1.1 | |
| 医療社会事業収益 | | 160,000 | 382,473 | 139.0 | |
| 特別利益 | | 600,000 | 523,450 | ▲ 12.8 | |
| 収益的収入合計 | | 9,227,460,000 | 9,616,071,736 | 4.2 | |
| 病院費用 | | 9,628,751,000 | 9,333,652,823 | ▲ 3.1 | 医業費用対医業収益負荷率 |
| 医業費用 | | 9,526,620,000 | 9,248,894,753 | ▲ 2.9 | 104.6% |
| 医業外費用 | | 57,529,000 | 50,343,689 | ▲ 12.5 | |
| 医療奉仕費用 | | 24,220,000 | 24,357,189 | 0.6 | |
| 特別損失 | | 5,000,000 | 2,234,259 | ▲ 55.3 | |
| 法人税等 | | 5,382,000 | 7,822,933 | 45.4 | |
| 予備費 | | 10,000,000 | - | - | |
| 収益的支出合計 | | 9,628,751,000 | 9,333,652,823 | ▲ 3.1 | |
| 当期純利益（損失） | | ▲ 401,291,000 | 282,418,913 | - | |

II. 資本的収入及び支出

(単位：円)

| 項目 | 区分 | 令和元年度 予算額※ | 令和元年度 決算額 | 予算対比 (%) | 備考 |
|---------|----|---------------|--------------|-------------|-----------------------|
| 病院収入 | | 314,972,000 | 296,819,568 | ▲ 5.8 | ※当初予算額に補正 予算額を加えた額 |
| 固定負債 | | 6,159,000 | 6,159,000 | 0.0 | |
| その他資本収入 | | 308,813,000 | 290,660,568 | ▲ 5.9 | |
| 資本的収入合計 | | 314,972,000 | 296,819,568 | ▲ 5.8 | |
| 病院費 | | 314,972,000 | 296,819,568 | ▲ 5.8 | |
| 固定資産 | | 237,862,000 | 219,710,502 | ▲ 7.6 | |
| 借入金等償還 | | 77,110,000 | 77,109,066 | ▲ 0.001 | |
| 資本的支出合計 | | 314,972,000 | 296,819,568 | ▲ 5.8 | |

10. 令和2年度医療施設特別会計歳入歳出予算概算書

I. 収益的収入及び支出

(単位：円)

| 項目 | 区分 | 令和元年度 予算額 | 令和2年度 予算額 | 対前年度比 (%) | 備考 |
|-----------|----|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 病院収益 | | 9,227,460,000 | 9,680,063,000 | 4.9 | |
| 医業収益 | | 8,463,269,000 | 8,985,650,000 | 6.2 | 病床稼働率 91.4% |
| 入院診療収益 | | 6,046,100,000 | 6,264,203,000 | 3.6 | 入院稼働日 365 |
| 外来診療収益 | | 2,227,296,000 | 2,546,812,000 | 14.3 | 外来稼働日 239 |
| その他医業収益 | | 202,133,000 | 191,247,000 | ▲ 5.4 | |
| 保険等査定減 | | ▲ 12,260,000 | ▲ 16,612,000 | 35.5 | |
| 医業外収益 | | 763,431,000 | 693,813,000 | ▲ 9.1 | |
| 医療社会事業収益 | | 160,000 | 300,000 | 87.5 | |
| 特別利益 | | 600,000 | 300,000 | ▲ 50.0 | |
| 収益的収入合計 | | 9,227,460,000 | 9,680,063,000 | 4.9 | |
| 病院費用 | | 9,628,751,000 | 9,703,924,000 | 0.8 | 医業費用対医業収益負荷率 |
| 医業費用 | | 9,526,620,000 | 9,613,589,000 | 0.9 | 107.0% |
| 医業外費用 | | 57,529,000 | 48,587,000 | ▲ 15.5 | |
| 医療奉仕費用 | | 24,220,000 | 23,486,000 | ▲ 3.0 | |
| 特別損失 | | 5,000,000 | 2,000,000 | ▲ 60.0 | |
| 法人税等 | | 5,382,000 | 6,262,000 | 16.4 | |
| 予備費 | | 10,000,000 | 10,000,000 | 0.0 | |
| 収益的支出合計 | | 9,628,751,000 | 9,703,924,000 | 0.8 | |
| 当期純利益(損失) | | ▲ 401,291,000 | ▲ 23,861,000 | - | |

II. 資本的収入及び支出

(単位：円)

| 項目 | 区分 | 令和元年度 予算額※ | 令和2年度 予算額 | 対前年度比 (%) | 備考 |
|---------|----|---------------|--------------|--------------|--------|
| 病院収入 | | 314,668,000 | 404,036,000 | 28.4 | ※当初予算額 |
| 固定負債 | | 5,860,000 | 6,300,000 | 7.5 | |
| その他資本収入 | | 308,808,000 | 397,736,000 | 28.8 | |
| 資本的収入合計 | | 314,668,000 | 404,036,000 | 28.4 | |
| 病院費 | | 314,668,000 | 404,036,000 | 28.4 | |
| 固定資産 | | 237,563,000 | 164,973,000 | ▲ 30.6 | |
| 借入金等償還 | | 77,105,000 | 239,063,000 | 210.0 | |
| 資本的支出合計 | | 314,668,000 | 404,036,000 | 28.4 | |

11. 決算の推移（過去4か年）

(単位：円)

収益的収入及び支出

| 項目 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|-----------|-----------------|--------------|-----------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|
| | 決算値 | 対前年度比 (%) | 決算値 | 対前年度比 (%) | 決算値 | 対前年度比 (%) | 決算値 | 対前年度比 (%) |
| 病院収益 | 8,736,851,721 | 13.1 | 9,178,553,604 | 5.1 | 9,368,835,254 | 2.1 | 9,616,071,736 | 2.6 |
| 医業収益 | 7,319,854,965 | ▲ 3.0 | 7,990,501,151 | 9.2 | 8,502,767,333 | 6.4 | 8,843,688,897 | 4.0 |
| 入院診療収益 | 5,352,026,090 | ▲ 4.3 | 5,761,478,324 | 7.7 | 5,992,167,642 | 4.0 | 6,111,680,875 | 2.0 |
| 外来診療収益 | 1,813,692,118 | ▲ 0.02 | 2,050,954,276 | 13.1 | 2,316,009,313 | 12.9 | 2,558,663,483 | 10.5 |
| その他医業収益 | 170,672,190 | 5.3 | 186,695,254 | 9.4 | 205,089,034 | 9.9 | 199,842,401 | ▲ 2.6 |
| 保険等査定減 | ▲ 16,535,433 | ▲ 13.5 | ▲ 8,626,703 | ▲ 47.8 | ▲ 10,498,656 | 21.7 | ▲ 26,497,862 | 152.4 |
| 医業外収益 | 1,276,699,305 | 657.9 | 1,175,906,688 | ▲ 7.9 | 855,247,118 | ▲ 27.3 | 771,476,916 | ▲ 9.8 |
| 医療社会事業収益 | 109,150 | ▲ 78.2 | 406,340 | 272.3 | 124,859 | ▲ 69.3 | 382,473 | 206.3 |
| 特別利益 | 140,188,301 | 3,565.6 | 11,739,425 | ▲ 91.6 | 10,695,944 | ▲ 8.9 | 523,450 | ▲ 95.1 |
| 収益的収入合計 | 8,736,851,721 | 13.1 | 9,178,553,604 | 5.1 | 9,368,835,254 | 2.1 | 9,616,071,736 | 2.6 |
| 病院費用 | 10,057,959,019 | 34.0 | 10,419,745,129 | 3.6 | 9,500,384,577 | ▲ 8.8 | 9,333,652,823 | ▲ 1.8 |
| 医業費用 | 8,893,641,178 | 20.9 | 9,271,299,490 | 4.2 | 9,294,810,887 | 0.3 | 9,248,894,753 | ▲ 0.5 |
| 医業外費用 | 130,987,217 | 3.6 | 141,122,999 | 7.7 | 163,815,992 | 16.1 | 50,343,689 | ▲ 69.3 |
| 医療奉仕費用 | 19,780,287 | 18.5 | 23,231,731 | 17.4 | 24,370,293 | 4.9 | 24,357,189 | ▲ 0.1 |
| 特別損失 | 1,011,532,230 | 37,841.3 | 983,456,588 | ▲ 2.8 | 7,258,576 | ▲ 99.3 | 2,234,259 | ▲ 69.2 |
| 法人税等 | 2,018,107 | ▲ 10.4 | 634,321 | ▲ 68.6 | 10,128,829 | 1,496.8 | 7,822,933 | ▲ 22.8 |
| 収益的支出合計 | 10,057,959,019 | 34.0 | 10,419,745,129 | 3.6 | 9,500,384,577 | ▲ 8.8 | 9,333,652,823 | ▲ 1.8 |
| 医業収支 | ▲ 1,573,786,213 | - | ▲ 1,280,798,339 | - | ▲ 792,043,554 | - | ▲ 405,205,856 | - |
| 当期純利益（損失） | ▲ 1,321,107,298 | - | ▲ 1,241,191,525 | - | ▲ 131,549,323 | - | 282,418,913 | - |

12. 院内委員会等組織表

〔H31.4.1現在〕

病院運営協議会 会長：副知事



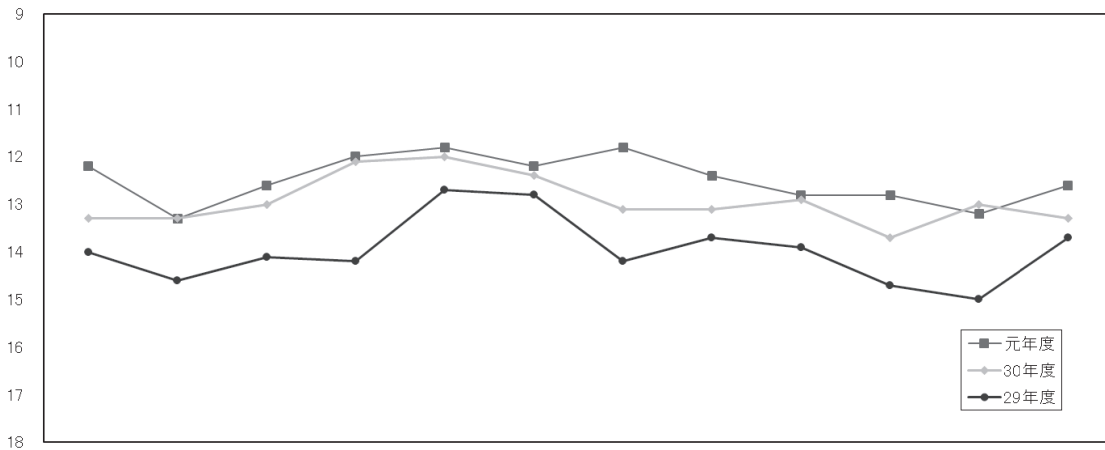
II 統計

1. 患者統計

(1) 入院

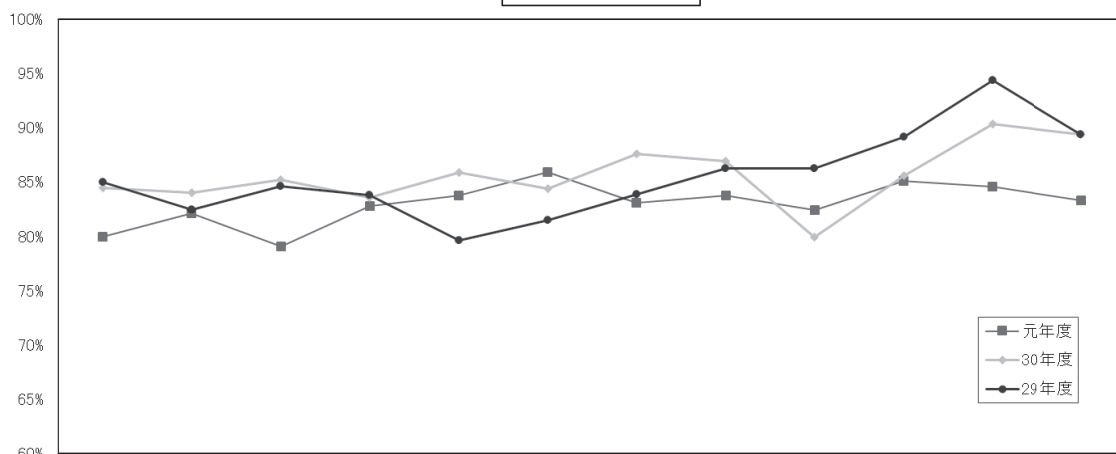
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----|---------------|---------|---------|--------|
| 入院 | 実働病床数 (床) | 304 | 304 | 304 |
| | 実日数 (日) | 365 | 365 | 365 |
| | 入院患者数 (人) | 101,654 | 102,338 | 99,778 |
| | 病床利用率 (%) | 86.3 | 86.4 | 83.0 |
| | 平均在院日数 (日) | 14.0 | 12.9 | 12.5 |
| | 1日平均入院患者数 (人) | 278.5 | 280.4 | 272.6 |
| | 入院診療単価 (円) | 56,580 | 58,441 | 61,002 |

平均在院日数の推移



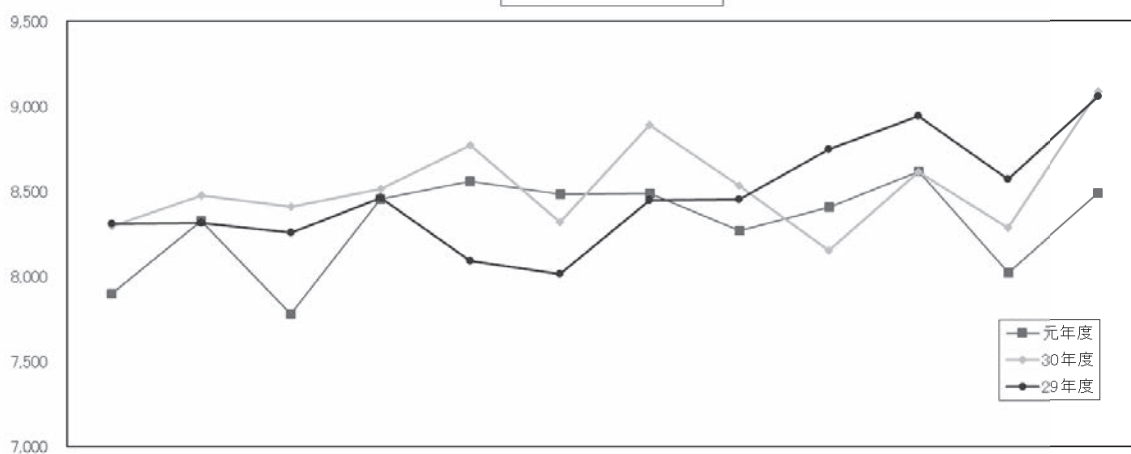
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 平成29年度 | 14.0 | 14.6 | 14.1 | 14.2 | 12.7 | 12.8 | 14.2 | 13.7 | 13.9 | 14.7 | 15.0 | 13.7 | 14.0 |
| 平成30年度 | 13.3 | 13.3 | 13.0 | 12.1 | 12.0 | 12.4 | 13.1 | 13.1 | 12.9 | 13.7 | 13.0 | 13.3 | 12.9 |
| 令和元年度 | 12.2 | 13.3 | 12.6 | 12.0 | 11.8 | 12.2 | 11.8 | 12.4 | 12.8 | 12.8 | 13.2 | 12.6 | 12.5 |

病床利用率の推移



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平成29年度 | 85.0% | 82.5% | 84.6% | 83.8% | 79.6% | 81.5% | 83.9% | 86.3% | 86.3% | 89.2% | 94.4% | 89.4% | 86.3% |
| 平成30年度 | 84.5% | 84.0% | 85.2% | 83.6% | 85.9% | 84.4% | 87.6% | 86.9% | 79.9% | 85.6% | 90.4% | 89.4% | 86.4% |
| 令和元年度 | 80.0% | 82.1% | 79.1% | 82.8% | 83.8% | 85.9% | 83.1% | 83.8% | 82.4% | 85.1% | 84.6% | 83.3% | 83.0% |

入院患者延数の推移

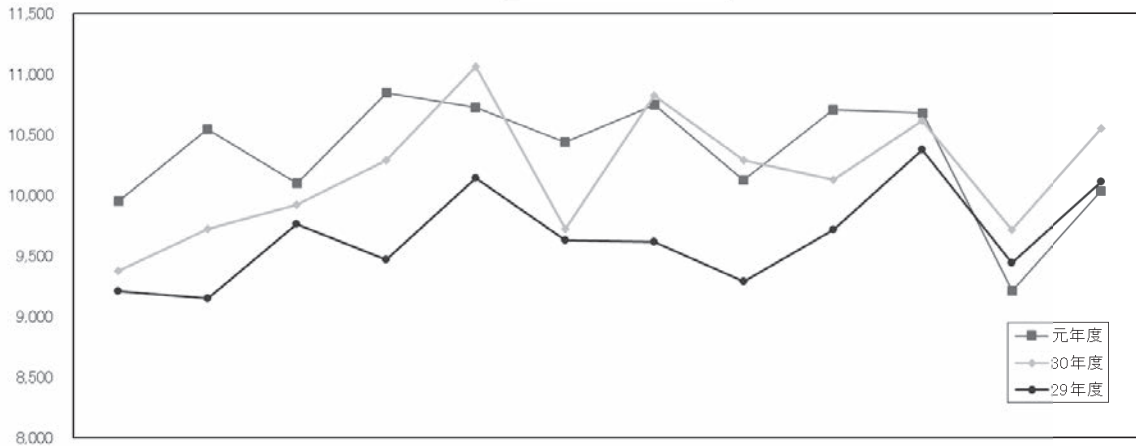


| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 平成29年度 | 8,307 | 8,315 | 8,257 | 8,459 | 8,091 | 8,015 | 8,448 | 8,451 | 8,744 | 8,939 | 8,572 | 9,056 | 101,654 |
| 平成30年度 | 8,296 | 8,477 | 8,410 | 8,515 | 8,770 | 8,316 | 8,889 | 8,534 | 8,150 | 8,612 | 8,283 | 9,086 | 102,338 |
| 令和元年度 | 7,898 | 8,323 | 7,780 | 8,454 | 8,560 | 8,483 | 8,486 | 8,268 | 8,406 | 8,614 | 8,019 | 8,487 | 99,778 |

(2) 外来

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----|---------------|---------|---------|---------|
| 外来 | 実日数 (日) | 243 | 243 | 242 |
| | 外来患者延数 (人) | 115,911 | 122,222 | 124,122 |
| | 紹介患者数 (人) | 8,065 | 9,284 | 9,501 |
| | 紹介率 (%) | 84.7 | 81.1 | 82.0 |
| | 1日平均外来患者数 (人) | 477.0 | 503.0 | 512.9 |
| | 外来診療単価 (円) | 17,663 | 18,926 | 20,590 |

外来患者延数の推移



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|---------|
| 平成29年度 | 9,208 | 9,149 | 9,762 | 9,469 | 10,142 | 9,629 | 9,617 | 9,288 | 9,715 | 10,376 | 9,446 | 10,110 | 115,911 |
| 平成30年度 | 9,375 | 9,725 | 9,921 | 10,290 | 11,062 | 9,722 | 10,824 | 10,288 | 10,130 | 10,615 | 9,720 | 10,550 | 122,222 |
| 令和元年度 | 9,954 | 10,547 | 10,100 | 10,845 | 10,724 | 10,442 | 10,748 | 10,127 | 10,708 | 10,682 | 9,212 | 10,033 | 124,122 |

(3) 救急

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|-------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 救急患者数 | 患者数（人） | 16,868 | 16,428 | 16,260 | |
| | 診療科別内訳 | 内 科 | 2,853 | 3,324 | 3,344 |
| | | 小 児 科 | 9,292 | 8,675 | 8,913 |
| | | 外 科 | 906 | 886 | 923 |
| | | 整 形 外 科 | 1,030 | 1,015 | 844 |
| | | 脳神経外科 | 545 | 512 | 416 |
| | | 産 婦 人 科 | 181 | 196 | 186 |
| | | そ の 他 | 2,061 | 1,820 | 1,634 |
| | 患者搬送別 | 救 急 車 | 2,200 | 2,097 | 2,250 |
| | | そ の 他 | 14,668 | 14,331 | 14,010 |

(平成29年度より地域連携小児救急医療センター開設)

(4) 診療科別

外来患者数

(人)

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 内 科 | 37,853 | 36,849 | 38,239 | 39,189 | 39,709 |
| 小 児 科 | 10,823 | 8,417 | 16,258 | 16,299 | 17,668 |
| 外 科 | 15,172 | 14,983 | 14,883 | 14,692 | 14,793 |
| 整形外科 | 10,887 | 10,585 | 12,401 | 12,823 | 11,887 |
| 脳神経外科 | 3,244 | 2,912 | 2,997 | 3,136 | 2,969 |
| 皮 膚 科 | 4,437 | 4,439 | 4,463 | 4,273 | 4,803 |
| 泌尿器科 | 5,395 | 4,939 | 5,167 | 5,559 | 5,663 |
| 産婦人科 | 6,261 | 6,109 | 6,078 | 6,231 | 6,155 |
| 眼 科 | 12,570 | 10,568 | 9,204 | 9,276 | 9,563 |
| 耳鼻咽喉科 | 1,220 | 1,136 | 1,239 | 1,351 | 1,375 |
| 放射線科 | 2,876 | 2,284 | 3,088 | 3,186 | 2,796 |
| 麻 酔 科 | 187 | 142 | 157 | 104 | 67 |
| 救 急 科 | 458 | 502 | 638 | 595 | 625 |
| 形成外科 | 309 | 267 | 1,099 | 1,712 | 1,814 |
| 歯 科 | | | | 3,796 | 4,235 |
| 合 計 | 111,692 | 104,132 | 115,911 | 122,222 | 124,122 |

入院患者数

(人)

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------|---------|--------|---------|---------|--------|
| 内 科 | 42,401 | 40,790 | 46,331 | 40,743 | 41,671 |
| 小 児 科 | 4,030 | 4,354 | 4,998 | 5,654 | 5,360 |
| 外 科 | 15,520 | 15,220 | 14,109 | 15,126 | 13,890 |
| 整形外科 | 17,817 | 17,852 | 18,298 | 18,389 | 17,264 |
| 脳神経外科 | 11,332 | 9,909 | 8,727 | 10,814 | 10,227 |
| 皮 膚 科 | 1,075 | 847 | 659 | 771 | 611 |
| 泌尿器科 | 2,649 | 2,429 | 3,009 | 4,132 | 3,526 |
| 産婦人科 | 3,562 | 2,971 | 2,746 | 3,390 | 3,576 |
| 眼 科 | 2,717 | 2,406 | 1,488 | 1,946 | 1,392 |
| 耳鼻咽喉科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 放射線科 | 0 | 1 | 5 | 0 | 2 |
| 麻 酔 科 | 7 | 16 | 5 | 5 | 0 |
| 救 急 科 | 855 | 777 | 835 | 578 | 1,032 |
| 形成外科 | 0 | 0 | 444 | 790 | 1,227 |
| 歯 科 | | | | 0 | 0 |
| 合 計 | 101,965 | 97,572 | 101,654 | 102,338 | 99,778 |

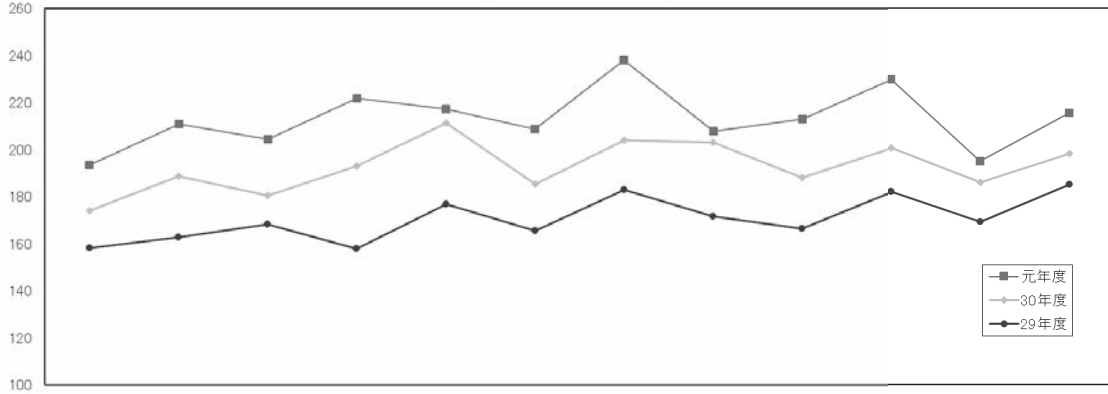
I
病院の概況II
統計III
各部門の概況

(5) 月別

| | 入院 | | | | 外来 | | |
|-----|------------|------------|-------------|--------------|------------|------------|-------------|
| | 実日数 (日) | 患者数 (人) | 1日平均 (人) | 病床利用率 (%) | 実日数 (日) | 患者数 (人) | 1日平均 (人) |
| 4月 | 30 | 7,898 | 263.3 | 80.0% | 20 | 9,954 | 497.7 |
| 5月 | 31 | 8,323 | 268.5 | 82.1% | 20 | 10,547 | 527.4 |
| 6月 | 30 | 7,780 | 259.3 | 79.1% | 20 | 10,100 | 505.0 |
| 7月 | 31 | 8,454 | 272.7 | 82.8% | 22 | 10,845 | 493.0 |
| 8月 | 31 | 8,560 | 276.1 | 83.8% | 21 | 10,724 | 510.7 |
| 9月 | 30 | 8,483 | 282.8 | 85.9% | 19 | 10,442 | 549.6 |
| 10月 | 31 | 8,486 | 273.7 | 83.1% | 22 | 10,748 | 488.5 |
| 11月 | 30 | 8,268 | 275.6 | 83.8% | 20 | 10,127 | 506.4 |
| 12月 | 31 | 8,406 | 271.2 | 82.4% | 20 | 10,708 | 535.4 |
| 1月 | 31 | 8,614 | 277.9 | 85.1% | 19 | 10,682 | 562.2 |
| 2月 | 29 | 8,019 | 276.5 | 84.6% | 18 | 9,212 | 511.8 |
| 3月 | 31 | 8,487 | 273.8 | 83.3% | 21 | 10,033 | 477.8 |
| 合計 | 366 | 99,778 | 272.6 | 83.0% | 242 | 124,122 | 512.9 |

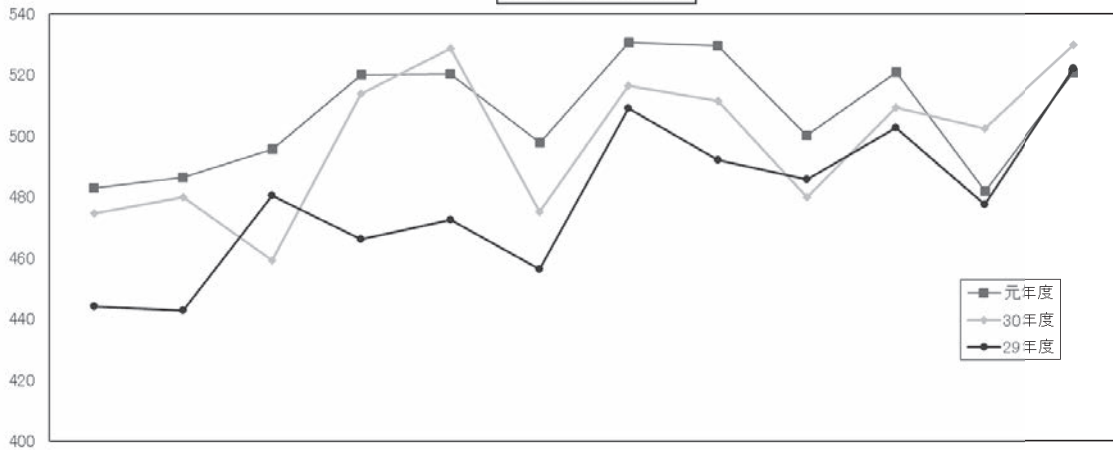
2. 稼働統計

外来稼働額の推移



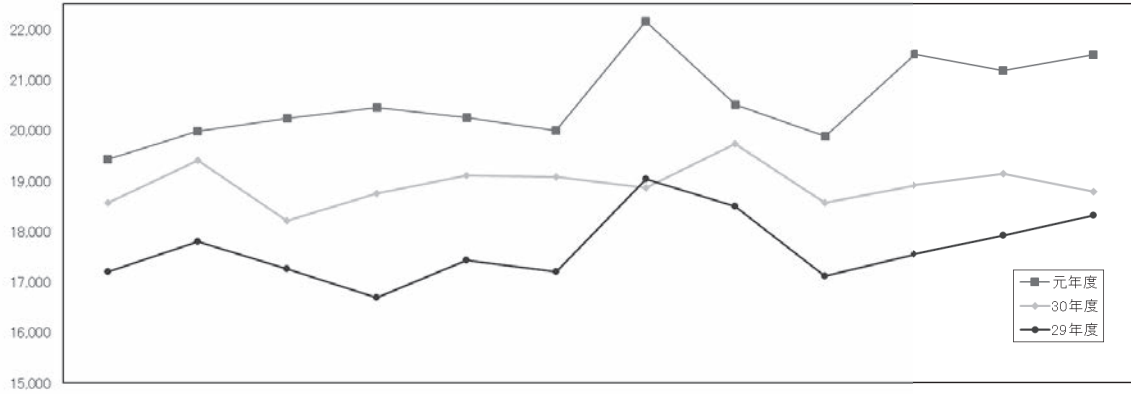
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 平成29年度 | 158 | 163 | 168 | 158 | 177 | 166 | 183 | 172 | 166 | 182 | 169 | 185 | 2,047 |
| 平成30年度 | 174 | 189 | 181 | 193 | 211 | 185 | 204 | 203 | 188 | 201 | 186 | 198 | 2,313 |
| 令和元年度 | 193 | 211 | 204 | 222 | 217 | 209 | 238 | 208 | 213 | 230 | 195 | 216 | 2,556 |

入院稼働額の推移



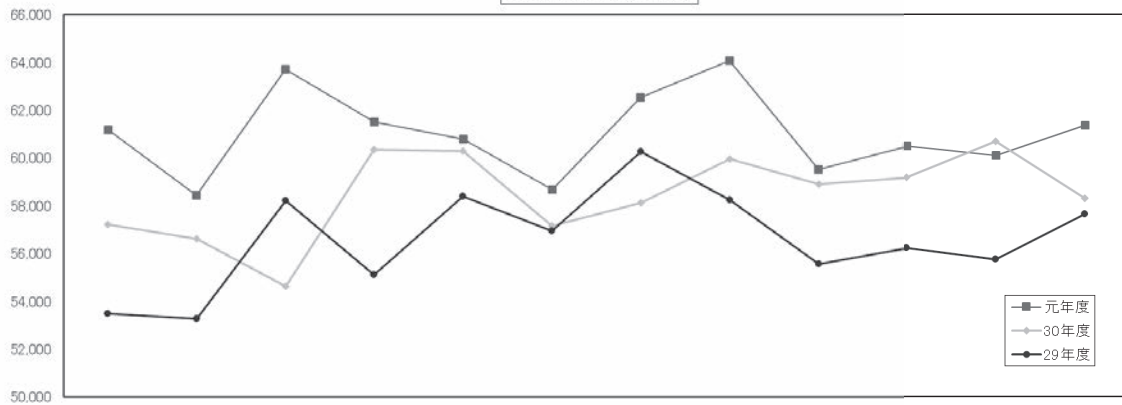
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 平成29年度 | 444 | 443 | 481 | 466 | 472 | 456 | 509 | 492 | 486 | 503 | 478 | 522 | 5,752 |
| 平成30年度 | 475 | 480 | 459 | 514 | 529 | 475 | 517 | 512 | 480 | 509 | 502 | 530 | 5,981 |
| 令和元年度 | 483 | 486 | 496 | 520 | 520 | 498 | 531 | 530 | 500 | 521 | 482 | 521 | 6,087 |

外来診療単価の推移



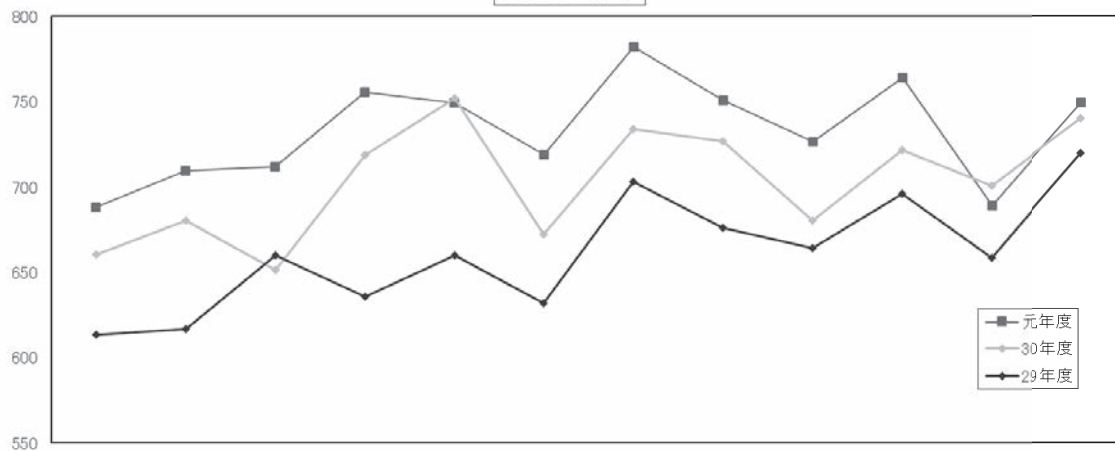
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平成29年度 | 17,199 | 17,795 | 17,255 | 16,689 | 17,431 | 17,193 | 19,031 | 18,497 | 17,120 | 17,536 | 17,907 | 18,314 | 17,663 |
| 平成30年度 | 18,568 | 19,399 | 18,205 | 18,745 | 19,101 | 19,080 | 18,862 | 19,729 | 18,571 | 18,910 | 19,137 | 18,781 | 18,926 |
| 令和元年度 | 19,431 | 19,982 | 20,244 | 20,457 | 20,256 | 19,994 | 22,155 | 20,512 | 19,884 | 21,504 | 21,182 | 21,486 | 20,590 |

入院診療単価の推移



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平成29年度 | 53,470 | 53,256 | 58,201 | 55,112 | 58,394 | 56,930 | 60,253 | 58,241 | 55,550 | 56,224 | 55,716 | 57,635 | 56,580 |
| 平成30年度 | 57,219 | 56,602 | 54,611 | 60,331 | 60,271 | 57,135 | 58,107 | 59,939 | 58,884 | 59,153 | 60,664 | 58,292 | 58,441 |
| 令和元年度 | 61,154 | 58,436 | 63,704 | 61,503 | 60,777 | 58,672 | 62,532 | 64,060 | 59,496 | 60,472 | 60,085 | 61,344 | 61,002 |

稼働額の推移



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 平成29年度 | 613 | 617 | 660 | 636 | 660 | 632 | 703 | 676 | 664 | 696 | 658 | 719 | 7,934 |
| 平成30年度 | 661 | 680 | 651 | 719 | 752 | 672 | 734 | 727 | 680 | 721 | 701 | 740 | 8,438 |
| 令和元年度 | 688 | 710 | 712 | 755 | 749 | 719 | 782 | 750 | 726 | 764 | 689 | 749 | 8,794 |

3. 手術統計

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 内科 | 990 | 942 | 1,161 | 1,234 | 1,290 |
| 小児科 | 24 | 9 | 11 | 37 | 19 |
| 外科 | 964 | 910 | 906 | 1,012 | 1,040 |
| 整形外科 | 983 | 973 | 1,195 | 1,137 | 1,215 |
| 脳神経外科 | 289 | 228 | 297 | 304 | 268 |
| 皮膚科 | 104 | 101 | 103 | 79 | 98 |
| 泌尿器科 | 210 | 218 | 258 | 285 | 261 |
| 産婦人科 | 299 | 254 | 211 | 313 | 307 |
| 眼科 | 626 | 553 | 442 | 533 | 569 |
| 耳鼻咽喉科 | 6 | 4 | 11 | 5 | 10 |
| 放射線科 | 5 | 6 | 3 | 1 | 1 |
| 麻酔科 | 37 | 19 | 24 | 16 | 10 |
| 救急科 | 83 | 86 | 108 | 78 | 78 |
| 形成外科 | 20 | 18 | 135 | 189 | 203 |
| 歯科 | | | | 816 | 1,223 |
| 合計 | 4,640 | 4,321 | 4,865 | 6,039 | 6,592 |

4. 業務統計

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------|-----------|---------|---------|---------|
| 検査 | 一般 | 6,311 | 6,659 | 6,263 |
| | 生理 | 242,963 | 244,449 | 251,364 |
| | 血液 | 43,127 | 45,650 | 47,794 |
| | 生化学 | 49,597 | 50,134 | 53,957 |
| | 血清（免疫学的） | 55,880 | 54,995 | 57,654 |
| | 細菌（微生物学的） | 4,639 | 4,896 | 5,560 |
| | 病理 | 11,715 | 12,732 | 13,594 |
| | 合計 | 414,232 | 419,515 | 436,186 |
| 放射線撮影 | 一般撮影 | 39,982 | 42,847 | 41,798 |
| | 消化管透視 | 1,692 | 1,647 | 1,338 |
| | C T 検査 | 12,927 | 13,861 | 13,735 |
| | M R I 検査 | 5,067 | 5,848 | 5,603 |
| | R I 検査 | 446 | 455 | 360 |
| | 血管造影 | 195 | 205 | 173 |
| | 心臓カテーテル | 280 | 300 | 331 |
| | 放射線治療 | 10,409 | 10,867 | 9,989 |
| | 骨密度測定 | 341 | 606 | 679 |
| | 画像提供 | 5,602 | 6,402 | 5,927 |
| | 超音波 | 14,353 | 15,689 | 15,747 |
| | 合計 | 91,294 | 98,727 | 95,680 |

| | | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|----------|----------|-----------|---------|---------|---------|--------|
| 薬剤業務 | 調剤業務 | 調剤薬処方箋(枚) | 外来 | 5,005 | 5,060 | 4,615 |
| | | | 入院 | 65,478 | 70,721 | 70,787 |
| | | | 合計 | 70,483 | 75,781 | 75,402 |
| | | 注射薬(枚) | 外来 | 17,243 | 18,632 | 19,474 |
| | | | 入院 | 78,935 | 76,074 | 73,736 |
| | | | 合計 | 96,178 | 94,706 | 93,210 |
| | 院外処方箋 | 枚数 | 66,896 | 67,900 | 69,968 | |
| | | 発行率 | 93.04% | 95.96% | 93.81% | |
| | TPNの無菌調整 | 件数 | 301 | 159 | 77 | |
| | | 本数 | 301 | 159 | 77 | |
| | 抗癌剤の無菌調整 | 件数 | 4,298 | 4,431 | 4,785 | |
| | | 本数 | 7,285 | 7,627 | 7,734 | |
| | 院内製剤の調整 | | 品目数 | 14 | 14 | 14 |
| | その他 | 薬剤管理指導 | 病棟数 | 9 | 9 | 9 |
| | | | 件数 | 7,208 | 8,975 | 9,027 |
| | | 錠剤鑑別件数 | | 31,328 | 34,502 | 37,015 |
| DIニュース回数 | | 70 | 70 | 67 | | |
| 給食 | 常食 | | 80,213 | 71,287 | 73,307 | |
| | 軟菜食 | | 40,083 | 38,463 | 40,663 | |
| | 特別食 | | 115,791 | 123,764 | 117,765 | |
| | 合計 | | 236,087 | 233,514 | 231,735 | |